

乳幼児の安全対策委員会

発表日 平成30年7月3日
 発表者 乳幼児の安全対策委員会
 委員長 山口 みどり
 委員 石田 数美

1

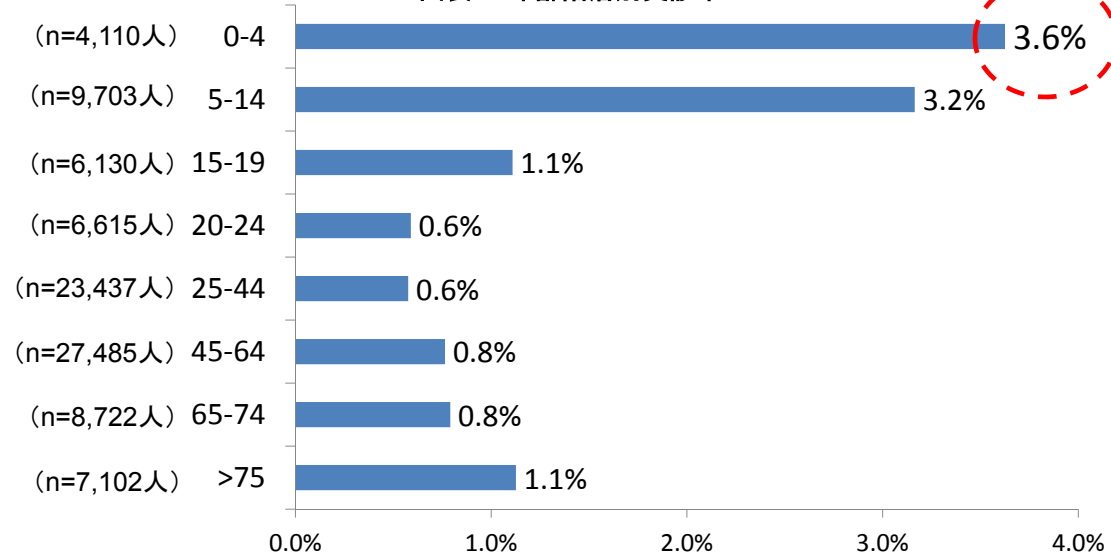
乳幼児の安全対策委員会構成

		所属団体	役職
市民団体等	1	亀岡市民生・児童委員協議会主任児童委員連絡会	委員長
	2	NPO法人亀岡子育てネットワーク 副理事長	
関係機関等	3	京都第一赤十字病院 救急科 副部長	
	4	亀岡市子育て支援センター センター長	
	5	亀岡市立亀岡幼稚園 園長	
	6	亀岡市立第六保育所 所長	
	7	亀岡市立保津保育所 主幹養護師	
	8	亀岡市立中部保育所 主幹保健師	
行政関係	9	京都府南丹保健所 保健室 副室長	副委員長
	10	亀岡市こども未来課 課長	
	11	亀岡市自治防災課 課長	

3

2011年「乳幼児の安全対策委員会」を設置 「外傷発生動向調査では4歳以下の外傷が最も多い」

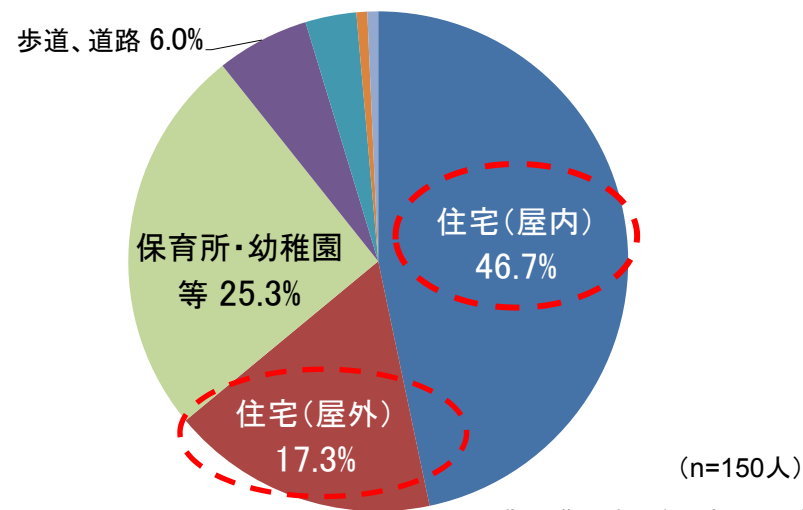
図表1 年齢階層別受診率



出典：外傷発生動向調査 2007年 2

データに基づく客観的課題 乳幼児(0~4歳)の外傷受傷場所は 1番住宅、2番保育所等の順に多い

図表2 亀岡市内における乳幼児(0~4歳)の外傷場所



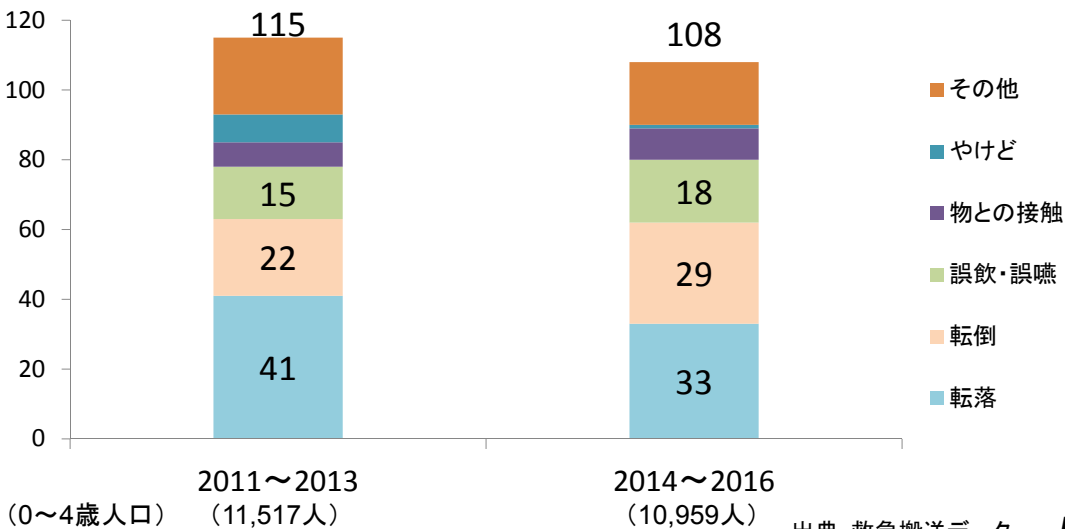
出典：外傷発生動向調査 2007年

4

データに基づく客観的課題

乳幼児の住宅での受傷原因は①転落 ②転倒
③誤飲・誤嚥 ④物との接触の順に多い

図表3 亀岡市内の乳幼児(0~4歳)の住宅での外傷受傷原因(3年間の合計)

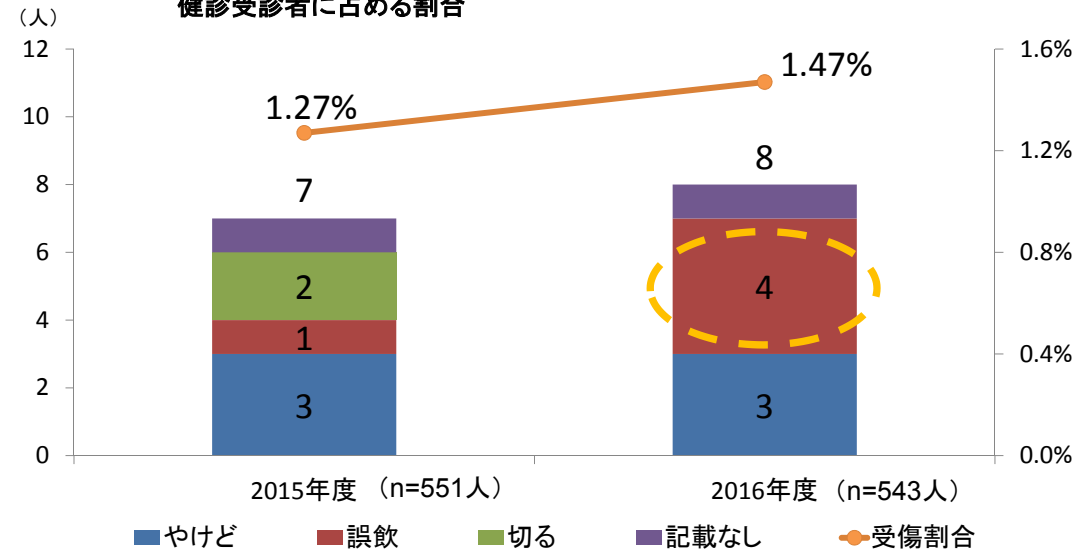


出典: 救急搬送データ 5

データに基づく客観的課題

誤飲が増加している

図表4 11ヵ月健診時に「事故・ケガがあって病院を受診した」と回答した人数と健診受診者に占める割合

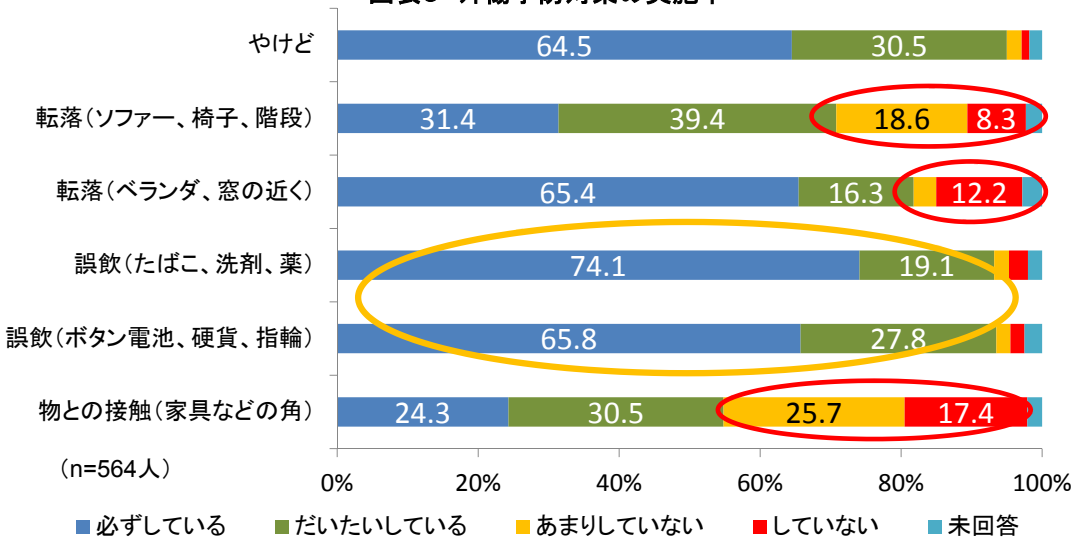


出典: 亀岡市保健センター 乳幼児11ヵ月健診問診票 6

データに基づく客観的課題

- ・転落・物との接触への対策をしていない保護者が多い
- ・誤飲対策は約93%の保護者がしていると回答

図表5 外傷予防対策の実施率



出典: 亀岡市保健センター 乳幼児健診アンケート(2015) 7

主観的・客観的課題の整理

データに基づくもの	経験に基づくもの
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の外傷受傷場所は、1番住宅、2番保育所等の順に多い。(図表2) ・乳幼児の受傷原因は、①転落②転倒③誤飲・誤嚥④物との接触の順に多い。(図表3) ・誤飲が増加している。(図表4) ・転落・物との接触への対策をしていない保護者が多く、誤飲対策も十分でない。(図表5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・やけどは傷跡が残り続ける。 ・溺水は重症化する。 ・乳幼児の筋力、バランス感覚は未熟で転倒しやすい。 ・乳幼児には、発達特性があり、見通しがもちにくい。



重点課題の設定

課題解決のための方向性と対策

課題	方向性	対策
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の外傷受傷場所は住宅が1番多い。 ・乳幼児の受傷原因は転落、転倒、誤飲・誤嚥、物との接触の順に多い。 ・誤飲が増加している。 ・転落・物との接触への対策をしていない保護者が多く、誤飲対策も十分でない。 ・やけどは傷跡が残り続ける。 ・溺水は重症化する。 ・乳幼児には、発達特性があり、見通しがもちにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児保護者の外傷防止に対する意識の向上 ・住宅内における転落・転倒・誤飲など頻度の高い事故への安全対策 ・やけどや溺水など重症化しやすい事故への安全対策 ・乳幼児の発達特性を理解し、成長を見通した安全対策 	① 乳幼児保護者向け安全教育プログラム(継続)
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の筋力、バランス感覚は未熟で転倒しやすい。 	園児の筋力、バランス感覚の育成	② 運動あそびプログラム(継続)
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の外傷受傷場所は2番目に保育所等が多い 	保育所の環境改善	③ 乳幼児安全安心プログラム(継続)

9

レベル別の対策

別添資料を御覧ください

10

レベル別対策の事例紹介 母子手帳の交付



11

プログラムの運営状況

	進行状況					計画
	2013	2014	2015	2016	2017	2018
乳幼児保護者向け安全教育プログラム(継続)	→ 継続 →					
運動あそびプログラム(継続)	→ 継続 →					2016年からセーフスクールへ移行
乳幼児安全安心プログラム(継続)	→ 継続 →					

12

セーフスクールの取り組み

- 2013年9月 ISS取組宣言
 - 2015年10月 ISS認証取得
- 亀岡市立8保育所・亀岡あゆみ保育園が活動

対策委員会は
バックアップ！



亀岡あゆみ保育園



亀岡市立8保育所

13

乳幼児保護者向け安全教育プログラムの活動状況

啓発ポスターを作成



15

①乳幼児保護者向け安全教育プログラム

課題	乳幼児の住宅での事故が多い	
目標	住宅での乳幼児の外傷を減少させる。	
内容等	【内容】	市保健センターの乳幼児4カ月健診や、市内各地の乳幼児の保護者が集まる場で外傷予防講習を実施し、家庭での外傷予防活動を呼びかける。
	【対象】	乳幼児の保護者
(短・中期) 態度や行動の変化	【指標】 外傷予防等に関する保護者の認知度、外傷予防の実施率	【測定】 安全教育プログラム受講率、定期健診時のアンケート調査
(長期) 状態や状況の変化	【指標】 乳幼児の家庭での受傷件数、受傷率	【測定】 定期健診時の問診票、救急搬送データ

14

乳幼児保護者向け安全教育プログラムの活動状況

啓発パンフレットを作成

3歳児の口の大きさ



16

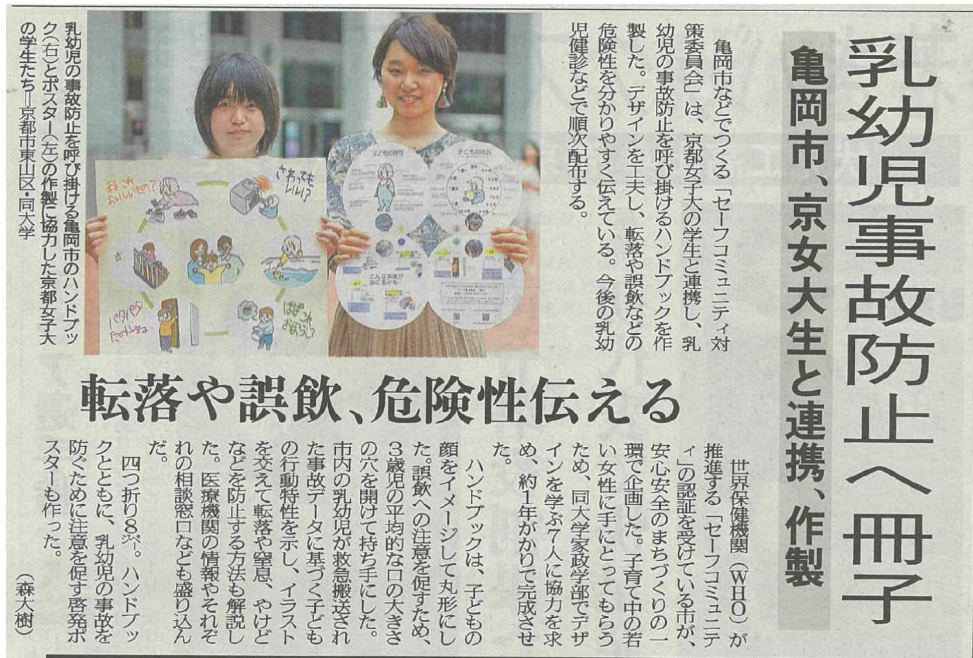
【パンフレット掲載内容】

救急搬送のデータから

転落、誤飲・誤嚥、物との接触、
やけど

対策委員の経験による意見から

溺れる、やけど



〔4カ月健診時に保護者に啓発〕



乳幼児保護者向け安全教育プログラムの活動状況

〔 委員自らが出前講座を実施 〕



21

乳幼児保護者向け安全教育プログラムの活動状況

〔 委員が出向いて市内各商業施設に啓発ポスターを配布 〕



22

プログラムの活動実績

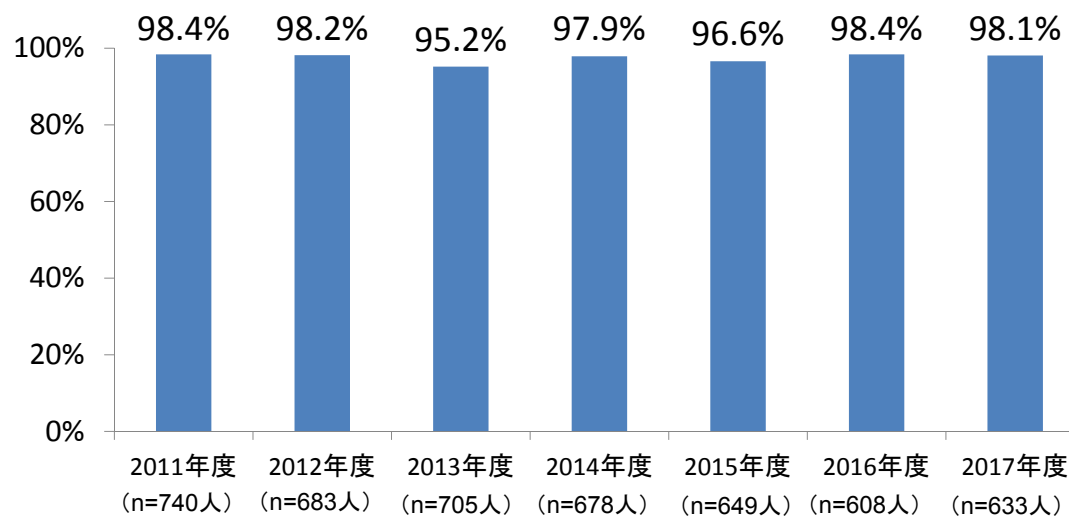
実績と今後の予定	実績					対策委員会の関わり	工夫点
	2013	2014	2015	2016	2017		
乳幼児健診時の安全教育	23回 671人参加	24回 664人参加	23回 627人参加	18回 598人参加	24回 621人参加	<ul style="list-style-type: none"> ●健診時に実施するアンケート調査票の作成 ●パンフレット、ポスターの作成 ●委員自らがパンフレットを用いて出前講座を実施 ●店舗等へのポスター配布による啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ★2017年度から啓発パンフレットの内容に沿って、アンケート内容を修正した。 ★京都女子大学生と協働し、インパクトがあり、親しみやすいデザインとした。 ★地域に出向いて保護者に直接説明。
啓発パンフレットを用いた安全教育及び住民向けポスター配布や回覧			検討・作成				

23

プログラム評価結果(短期)

「毎年ほぼ全ての世帯が乳幼児健診を受講している」

図表6 乳幼児保護者向け安全教育プログラム受講率(乳幼児4ヵ月健診時に実施)



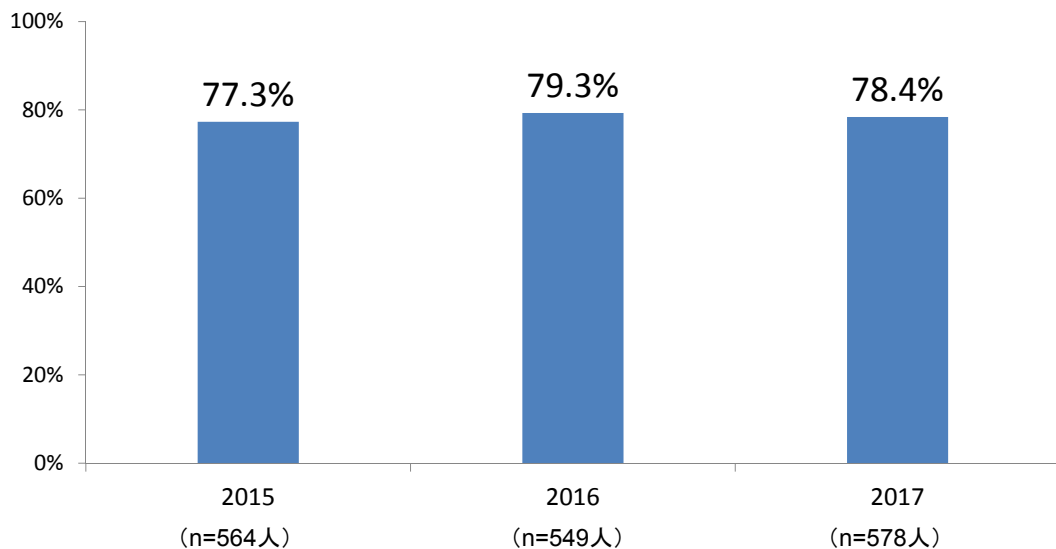
出典: 亀岡市保健センター 乳幼児4ヵ月健診アンケート

24

プログラム評価結果(中期)

「約8割の保護者が外傷予防を実施している」

図表7 外傷予防を実施していると回答した割合

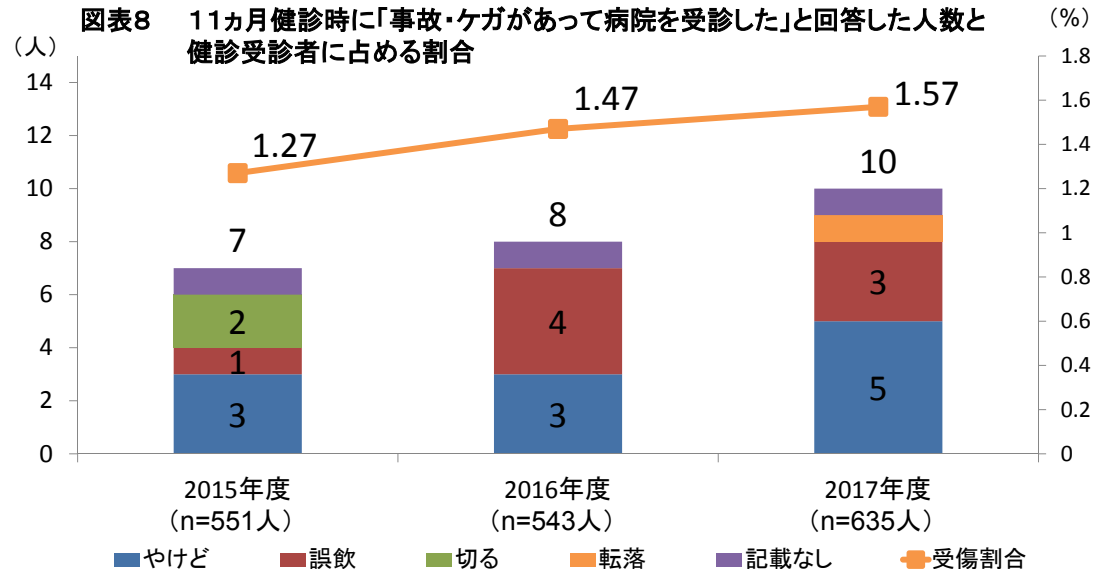


出典: 亀岡市保健センター 乳幼児11ヵ月健診アンケート 25

プログラム評価結果(長期)

「受傷率は増加傾向にある」

図表8 11ヵ月健診時に「事故・ケガがあって病院を受診した」と回答した人数と健診受診者に占める割合

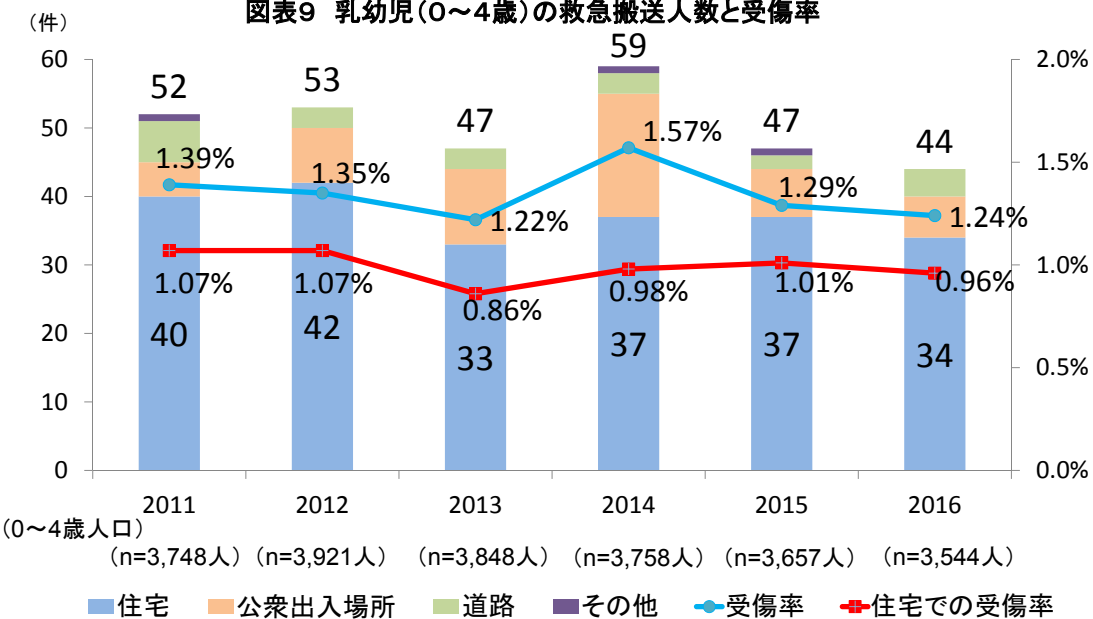


出典: 亀岡市保健センター 乳幼児11ヵ月健診問診票 26

取組成果の検証

「救急搬送人数は減少傾向にあるが、住宅内での受傷率は横ばい」

図表9 乳幼児(0~4歳)の救急搬送人数と受傷率

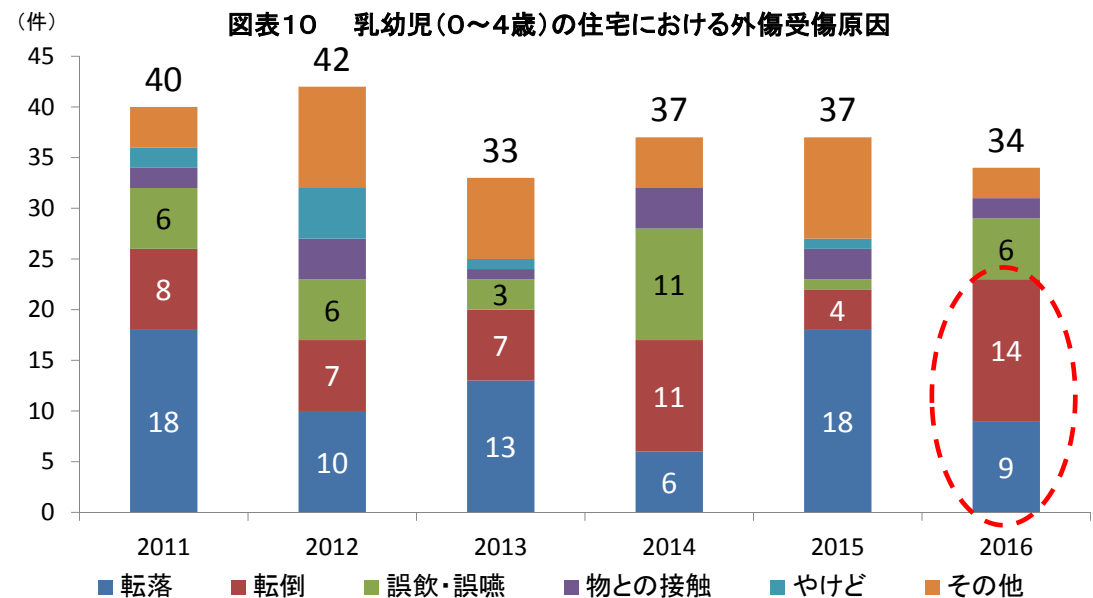


出典: 救急搬送データ 27

取組成果の検証

「住宅での転倒・転落は横ばい」

図表10 乳幼児(0~4歳)の住宅における外傷受傷原因



出典: 救急搬送データ 28

気付きや変化

●委員自らが各所属団体での活動や様々な機会において、パンフレットを活用した啓発活動を行うようになった。

●2015年に委員長が行政職から市民団体職に代わり、今まで以上に市民目線の取組ができるようになった。

29

現在の課題

●やけどや誤飲に比べて転落対策をしている保護者が少ない。

●保護者が誤飲対策をしている割合は高いが、事故は減っていない。

30

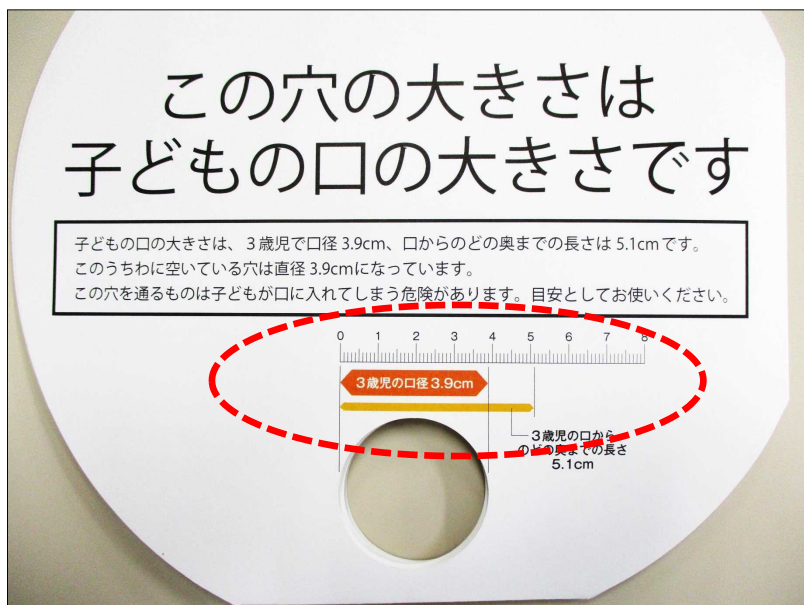


31

事前審査のアドバイスを踏まえて

32

啓発パンフレットの修正とポスター第2弾の作成



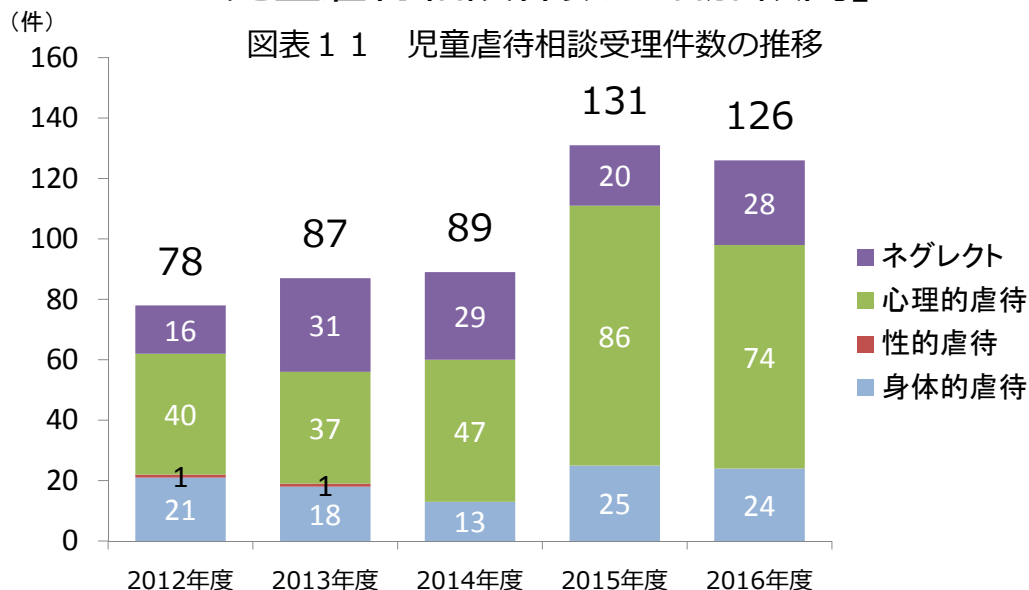
【啓発パンフレットに目盛を追加】

啓発パンフレットの修正とポスター第2弾の作成



児童虐待に対する対応

「児童虐待相談件数は増加傾向」



児童虐待に対する対応

